

「あなたのためのおべんとう」コンクール実施要項

1 目的

- (1) 中学校の技術・家庭科で学習した内容を生かし、お弁当づくりを行う。その成果の発表を通して知識や技能の向上を図り、よりよい食生活を目指そうとする意欲を育てる。
- (2) 普段通りの日常生活(ケの日)の中で、食べてもらう相手のことを考えたお弁当づくりを通して、身近な人とかかわりの大切さや「食」の重要性を知る。
- (3) コンクールを通して、参加者が互いの工夫点や技能を学び合い、中学生の交流の場とする。

2 主催

栃木県中学校教育研究会技術・家庭部会

3 共催

栃木県中学校文化連盟

4 後援

栃木県教育委員会

5 日時

令和7年11月9日(日) 受付 8:30~8:50 開会式9:00~

※受付開始時刻は、アイデアロボットコンテストの参加チーム数により前後する場合があります。

6 場所

大田原市立大田原中学校

〒324-0047 栃木県大田原市美原1丁目14-2 TEL 0287-23-3161 FAX 0287-23-3162

7 参加資格

栃木県中学校に在籍する生徒で、校長が参加を認めたものとする。

8 競技内容

第25回全国中学生創造ものづくり教育フェア「あなたのためのおべんとう」コンクールの競技ルールに準じて、栃木県予選会を実施する。

(1) 課題

「あなたのためのおべんとう」

(2) 審査方法

- ・地区予選および県予選：レポート
- ・本選：レポート、調理、プレゼンテーション

9 競技方法

- (1) 1グループ1~2人でのグループ競技とする。
- (2) 地区大会通過者を対象に予選会(レポート審査)を行い、本選出場者を決定する。
- (3) 本選において成績が優秀な1グループを、全国大会へ推薦する。

10 レポート・競技について

(1) レポート

ア レポート用紙の書式等は、全日本中学校技術・家庭科研究会HPよりダウンロードして使用する。

※全日本中学校技術・家庭科研究会HP <https://ajgika.ne.jp/>

イ 記載されている記入等の注意をよく読み、記入もれがないようにする。

ウ 学校名・チーム名・生徒氏名・弁当の名等にふりがなをふる。

エ 2群については、各食品の重量で表記すること。(牛乳に換算しない)

オ 主食がご飯の場合、米またはご飯の重量のどちらの重量かを明記する。

カ 使用する弁当の写真は真上から撮影する。その際、背景は必ず白とする。

キ レポート用紙と材料表については、コピーしたものの送付する。綴じ込む際には、左上をステープラー止めておく。(原本送付禁止)

(2) 材料

ア 規定課題「魚を使った料理」を主菜とする。魚は、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でもかまわない。ただし、甲殻類(エビ、イカ、カニ)は規定課題とみなさない。

イ お弁当を食べる対象者を具体的に設定し、年齢・性別をレポート用紙に明記する。対象者にあつた分量・材料・調理方法などを工夫する。

ウ お弁当は、チームの人数分+試食用1名分をつくる。

エ 材料費の目安は1人分1,000円以内とする。

(チームの人数分+試食用1名分)×1,000円(税込み)

オ 競技当日の材料は、各自で用意する。

カ 調味料は、各自で用意したものを使用する。各自で準備する調味料の計量は、競技時間内に行う。(あらかじめ分量を量り、小分けにしない。)

(3) 競技時間

ア 洗米・吸水・乾物のもどしは、調理時間とは別に10分間の下準備時間を設ける。(詳細は事前に知らせる)

イ 道具確認など準備時間を競技時間とは別に5分間とる。

ウ 調理の下準備・調理・片付けを全て含めて、85分以内で行い、お弁当のふたをしめて完成、終了とする。

エ 食材・調理用具や調理台及び流し台などの片付けと掃除(ごみ処理)までを競技時間内に行う。

(4) 用具

ア 弁当箱と小物は、お弁当として持ち運べる容器を各自で選び、持参する。また、色・形・大きさは、食べてもらう相手に合ったものを使用する。(皿等への盛り付けは認めない)

イ 弁当箱はチームの人数分を、小物は、チームの人数分+試食用1名分を持参する。

ウ 調理用具は、調理会場に設置されているものを使用することができる。(事前に申し出る)ただし、包丁は安全面を考え、持ち込みは禁止とする。(出刃包丁は会場に用意してある)

エ 調理用具以外(布巾、石鹸、食器用洗剤、スポンジ、キッチンペーパーなど)は、全て持参する。

オ 各調理台には、電子レンジ・オーブンが備え付けられている。電子レンジ・オーブンは、兼用のため、同時に両機能を使用することはできない。なお、オーブントースター機能は無い。

カ 安全面・衛生面を考慮し、調理台の上に市販のラック等を使い、用具等を置くスペースを増やすことは禁止とする。

キ 材料や道具等を事前に会場へ送ることはできない。全て当日に持参する。

ク 調理用具や調理台等は、全日中のWebページに示されてものを参照する。

(5) プレゼンテーション

ア 競技終了後、審査委員の前で完成したお弁当を置き、1分間のプレゼンテーションを行う。

イ プレゼンテーションの内容も審査の対象とする。

ウ 原稿は、事前に用意しておくこと。

エ 競技終了後、すぐにプレゼンテーションを行う。そのため、プレゼンテーションに使用する物は、食材などと共に会場へ持ち込んでおく。(使用するボード等は手で持つ。ホワイトボード等は準備できない)

11 審査

第25回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

「あなたのためのおべんとう」コンクール 栃木県大会実行委員会が行う。

12 表彰

「県教育長賞（最優秀賞）」 「県技術・家庭部会長賞」 「審査員特別賞」 「優秀賞」

の各賞を授与する。

「県教育長賞（最優秀賞）」を受賞した団体・個人を全国大会へ推薦する。

また、地区大会を通過して予選会に参加した団体・個人には「優良賞」を授与する。

13 申し込み

(1) 申込先 各地区担当者（フェア部員）へ提出すること。

地区名	フェア部員担当者名	勤務校
宇 河	勝井 美和	宇都宮市立横川中
上 都 賀	櫻木 美和	鹿沼市立東中学校
芳 賀	阿部 浩美	真岡市立中村中学校
下 都 賀	松島 優依	栃木市立栃木南
塩 谷 南 那 須	飯山 倫子	那須烏山市立烏山
那 須	井ノ部 ひかる	大田原市立大田原中学校
佐 野	恩田 秀美	佐野市立西中学校
足 利	湊 聡子	足利市立北中学校

(2) 申込期限

地区予選は、地区により開催日が異なるので、詳細は上記の各地区担当者に確認すること。

(3) 県予選への出場枠

最大各地区3点までとする。なお、県予選会に参加する生徒は、「応諾書」を準備し、各地区担当者が県予選会当日にレポートとともに原本を部門担当者に提出すること。（応諾書の書式は、後日県中教研技術・家庭部会のWebページに掲載）

(4) 県予選会について

日 時 令和7年10月7日(火) 14時～

会 場 大田原市立大田原中学校

県予選を通過した団体・個人は、申込書（Excel データ）を、担当者へメールで送付すること。その際、ファイル名を以下のルールに則して付けること。また、送信の際、他のメールとの混乱を避けるため、件名もしくは表題を「栃木県ものづくり教育フェア申し込み（〇〇学校）」として送信すること。

例) 表題：栃木県ものづくり教育フェア申し込み（山前中学校）

添付ファイル名：4_山前_真岡花子.xlsx（申込書）

※先頭の「4（半角）」を忘れずに入れること。この数字でフェア事務局は部門を判断している。

※添付するファイル名（EXCEL）のルール

・1人で参加の場合 4（半角）_学校名_氏名（フルネーム）例：4_山前_寺内ひかり

・2人で参加の場合 4（半角）_学校名_作品名（略称可）例：4_山前_応援弁当

注：ファイル名中の「_」は、半角アンダーバーです。ご注意ください。

14 その他（引率の先生・保護者の観覧について）

参加する生徒と運営（フェア部員）以外の方は、審査への影響を踏まえ、調理室とは別に控え室で待機していただくことを検討中です。ご承知おき下さい。

15 問い合わせ先

おべんとう部門担当

大田原立大田原中学校 井ノ部ひかる

〒324-0047 栃木県大田原市美原1丁目14-2 TEL 0287-23-3161 FAX 0287-23-3162

Mail ohtawara-cyu@ohtawara-city.jp